※令和４年度以降入学生用

学校番号	3004

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	国語演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	文学国語セレクション(東京書籍)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会人として必要な国語力を身に付けることを心がけましょう。
・教員の問いかけに対して、自由な雰囲気で生徒と教員、生徒同士の話し合いや発表など、アクティブな授業を行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。
・毎回、『完成ワーク国語』と『キーワードの卵』から見開き 2 ページについて小テストを行います。しっかり勉強してきてください。

2　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識が身に付いている。	文章を的確に読み取り、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、文学や日本語についての関心を深め、その意欲的にその力の向上を図ろうとする。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期中間	小説 ［教材］井上ひさし『ナイン』	a：教材内の言葉や慣用句の意味を理解しる。 b：〔読〕登場人物の心理と行動を理解し、共感し、内容を客観的に把握する。 c：教材を批判的に検討し、他の小説との比較など行い、400字程度の文章にまとめる。	漢字テスト 定期テスト	定期テスト	提出物、読書ノート等
1学期末	詩歌 ［教材］萩原朔太郎「竹」、島崎藤村「小諸なる古城のほとり」、宮沢賢治「永訣の朝	a：教材内の言葉や慣用句の意味を理解する。詩とは何か、詩の歴史を理解する。 b：〔読〕内容を鑑賞し、詩の持つメッセージを理解する。 c：3 つの詩を比較し、それぞれの詩人に他の詩も参照し、400字程度の鑑賞文または批評文を作成する。	漢字テスト 定期テスト	定期テスト	提出物、読書ノート等
2学期中間	小説 ［教材］田宮虎彦『沖縄の手記から』	a：教材内の言葉や慣用句の意味を理解しる。沖縄戦の歴史を理解する。 b：〔読〕登場人物の心理と行動を理解し、共感し、歴史を含めたうえで内容を客観的に把握する。 c：教材を批判的に検討し、戦争をテーマとした他の小説、沖縄を題材とした他の小説などとの比較し、戦争と沖縄という題で、800字程度の小論文を書く。	漢字テスト 定期テスト	定期テスト	提出物、読書ノート等
2学期末	評論 ［教材］木内昇『雨月物語』	a：教材内の言葉や慣用句の意味を理解する。 b：〔読〕論理構成を理解する。作者の主張を理解する。： c：教材を批判的に検討し、作者の主張を客観視し、批判を行う。400字程度の批評文を書く。	漢字テスト 定期テスト	定期テスト	提出物、読書ノート等
学年末	短歌 ［教材］硝子の駒―短歌抄	a：教材内の言葉や慣用句の意味を理解する。短歌とは何か、近代短歌の歴史、形式など理解する。それぞれの作者のスタンスも理解する b：〔読〕内容を鑑賞し、その短歌が何をうたっているのか、どのような情景・心情をうたったものなのか、だれに対する歌なのか理解する。 c：ここに上がった歌になかで最も印象にに残ったものを選び、どのような点にひかれたのか、400字程度の鑑賞文をまとめる。	漢字テスト 定期テスト	定期テスト	毎提出物、読書ノート等
	 ［教材］	a： b［　　］： c：			

※令和４年度以降入学生用

	［教材］	a: b[　　]: c:			
	［教材］	a: b[　　]: c:			

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　２０　）時間

・読むこと　…　（　３０　）時間